

正 冊

記載事項及び留意事項は、「盛土等許可申請の手引き [本編]」
(P1-310～311) を参照してください。

土石の堆積に関する工事の許可申請書 【記入例】

宅地造成及び特定盛土等規制法 {第 12 条第 1 項} {第 30 条第 1 項} の規定により、許可を 申請します。 令和〇〇年〇〇月〇〇日 (あて先) 岐阜市長 株式会社 〇〇〇〇 申請者 氏名 代表取締役 〇〇 〇〇		※手数料欄		
1	工事主住所氏名 (法人役員住所氏名)	〇〇市〇〇町〇〇番地〇 株式会社 〇〇〇〇 代表取締役 〇〇 〇〇 (〇〇市〇〇町〇〇番地〇 取締役 〇〇 〇〇 ほかに 2 名 (別紙参照))		
2	設計者住所氏名	□□市□□町□□番地□ 株式会社 □□□□ □□ □□		
3	工事施行者住所氏名	△△市△△町△△番地△ 株式会社 △△△△ 代表取締役 △△ △△		
4	土地の所在地及び地番 (代表地点の緯度経度)	岐阜市〇〇町 3 丁目 123 番 4 及び 123 番 5 の一部 (緯度: □度 □分□.□秒、経度: △度 △分△.△秒)		
5	土地の面積	〇〇〇.〇〇 平方メートル		
6	工事の目的	〇〇工事で発生する建設発生土を一時的 (～令和〇年〇月) に堆積するため		
7 工 事 の 概 要	イ 土石の堆積の 最大堆積高さ	〇.〇〇 メートル		
	ロ 土石の堆積を行う 土地の面積	〇〇〇.〇〇 平方メートル		
	ハ 土石の堆積の 最大堆積土量	〇〇〇.〇〇 立方メートル		
	ニ 土石の堆積を行う 土地の最大勾配	1/20		
	ホ 勾配が十分の一を 超える土地における 堆積した土石の崩壊を 防止するための措置	構台を設置		
	ヘ 土石の堆積を行う土地 における地盤の改良 その他の必要な措置			
	ト 空地の設置	番 号	空地の幅	
		空地 1	〇.〇〇 メートル	
		空地 2	〇.〇〇 メートル	
	チ 雨水その他の地表水を 有効に排除する措置	堆積する土石の周囲に設ける空地の外側に側溝を設置する。		
リ 堆積した土石の崩壊に 伴う土砂の流出を 防止する措置	鋼矢板を設置する。			
ヌ 工事中の危害防止 のための措置	区域を柵で囲い、立入り禁止標識を掲示する。			
ル その他の措置				

	ヲ 工事着手予定年月日	令和〇〇年 〇〇月 〇〇日		
	ワ 工事完了予定年月日	令和〇〇年 〇〇月 〇〇日		
	カ 工 程 の 概 要	仮設工→敷均工→鋼矢板工→排水工→土砂搬入→撤去		
8 その他必要な事項				
※受付欄		※決裁欄	※許可に当たって付した条件	※許可番号欄
年 月 日				年 月 日
第 号				第 号
係員氏名				係員氏名
〔注意〕 1 ※印のある欄は記入しないでください。 2 申請者、1 欄の工事主、2 欄の設計者又は3 欄の工事施行者が法人であるときは、氏名は、当該法人の名称及び代表者の氏名を記入してください。 3 1 欄の工事主が法人であるときは、工事主住所氏名のほか、当該法人の役員住所氏名を記入してください。 4 3 欄は、未定のときは、後で定まってから工事着手前に届け出てください。 5 4 欄は、代表地点の緯度及び経度を世界測地系に従って測量し、小数点以下第一位まで記入してください。 6 7 欄りは、鋼矢板等を設置するときは、当該鋼矢板等についてそれぞれ番号、種類、高さ及び延長を記入し、それ以外の措置を講ずるときは、措置の内容を記入してください。 7 8 欄は、土石の堆積に関する工事を施行することについて他の法令による許可、認可等を要する場合においてのみ、その許可、認可等の手続の状況を記入してください。				